

1990 年補遺

1. この部分は、会報創刊号に掲載した 1990 年の文献目録の補遺である。
2. 補遺部分の作成に当たっては、東方學會編『東方學関係著書論文目録』37 を参考にさせて頂いた。

著書一図録

1 月

- 赤塚 忠 『中国古代の宗教と文化 殷王朝の祭祀』（復刊） 研文社 869 p

3 月

- 江村治樹 『春秋・戦国・秦漢時代の都市の構造と住民の性格（平成元年度科学研究費研究成果報告書）』 89p

- 東京国立博物館編 『東京国立博物館図版目録 中国陶磁編 2』 東京国立博物館 189 p

- 樋口隆康編 『鏡鑑』 泉屋博古館 72p

5 月

- 陳 橋驛著 馬 安東訳 『中国の諸都市 その生い立ちと現状』 大明堂 176 p

7 月

- 安 志敏他 『徐福伝説を探る』 小学館 270p

樋口隆康 「考古学から見た徐福伝説の背景」 pp31～59

安 志敏 「江南文化と古代日本」 pp61～80

- 岩手県立博物館編 『中国古印 太田孝太郎コレクション』 岩手県文化振興事業団 48p

10 月

- 高崎市教育委員会編 『古代東国と東アジア』 河出書房新社 261 p

王 克林 「5～6 世紀の中日文化交流」 pp39～53

王 克林 「中国の古代軍事用防具・冑の起源と変遷」 pp225～255

- 千田 稔編 『環シナ海文化と古代日本 道教とその周辺』 人文書院 303 p

泉 武 「中国古代の俑 地上と冥界を結ぶもの」 pp49～89

井上 聰 「殷代廟号考 廟号と陰陽の関係」 pp247～273

- 樋口隆康 『大陸から見た古代日本』 学生社 224 p

- 富士美術館学芸課編 『シルクロードの美術 東西交流の精華』

- 黎 先耀主編 『中国博物館総覧』 上巻 『中国博物館総覧』 刊行委員会刊 272 p

11 月

- 沼尻正隆先生古稀記念事業会編 『沼尻博士退休記念中国学論集』 汲古書院 495 p

丸山 茂 「唐代長安城の沙堤」 pp17～38

立石節子 「中国鏡名文字の特質と変遷 秦漢から唐宋の鏡を中心として」 pp101

～147

●水野清一 『中国の仏教美術』（復刊） 平凡社 489 p

12 月

●曹 元宇著 木田茂夫・山崎 昶訳 『中国化学史話（上）・（下）』裳華房 228 p・275 p

論考・資料紹介

1 月

●伊藤道治 「第五期卜辞にあらわれる高の祭祀について」 関西外国語大学研究論集

51 pp203 ～pp217

2 月

●伊藤敏雄 「楼蘭の遺跡 近年の楼蘭調査によせて」 大阪教育大学紀要（社会科学・生活科学）38－2 pp129～143

●村中祐生 「如来鑽仰の諸形象と習禅」 大正大学大学院研究論集 14 pp 1～46

3 月

●堀口清視 「殷周時代短里の可能性について」 古代日本海文化 19 pp29～50

5 月

●白崎昭一郎 「広開土王碑拓本の編年」 福井考古学会会誌 8

●杉本憲司 「倭文化の源流をさぐる」 『稲 その源流への道、中国江南から吉野ヶ里』東アジア文化交流史研究会

6 月

●賀川光夫 「飛鳥の三尊博仏 敦煌から竜門石窟の倚像」 別府大学史学論叢 21 pp129～144

●金武正紀 「沖縄の中国陶磁器」 月刊考古学ジャーナル 320 pp 2～6

8 月

●清木場東 「隋東都の皇城 城・門・街」 久留米大学商学部創立 40 周年記念論文集 pp594～566

●杉本憲司 「日本と中国 倭と越をつないだ民衆の道」 『森浩一対談集 古代を語る』河合出版

9 月

●栄林知子 「鞆県石窟寺にみられる音楽資料」 桜井女子短期大学紀要 12 pp41～45

●高橋庸一郎 「夏后氏萬の系譜とその変遷」 阪南論集（人文自然科学編） 26－2 pp 1～13

●中野 徹 「銀器点綴 大和文華館の蔵品をめぐって」 大和文華 84 pp12～23

●日比野丈夫 「楊守敬の金石学」 書論 26 pp112～119

10 月

●相川政行 「鄭述祖「天柱山銘」の研究（１） 碑文の考察と断石状況を中心にして」
東京学芸大学紀要（芸術・体育）42 pp157～188

●杉本憲司 「最近の中国古代城郭都市研究 古城址考察日誌抄」 佛教大学報 40

●高橋誠一 「東アジアの都城遺跡」 人文地理 42-5 pp52～75

11 月

●穴沢咏光 「古墳文化と鮮卑文化」 季刊考古学 33 pp29～32

●王 巍・茂木雅博 「中国の墳丘墓と日本の古墳」 季刊考古学 33 pp18～23

●黄 曉芬 「中国古代都城制の特質」 『日本考古学協会 1990 年度大会発表資料集 東
アジアと九州』 日本考古学協会 1990 年度大会実行委員会編

●吉村 伶 「雲崗石窟編年論 宿白・長廣学説批判」 国華 1140 pp13～29

●吉村 伶 「天人の語義と中国の早期天人像」 佛教藝術 193 pp73～90

12 月

●浅原達郎 「中国先秦時代人名中の「某兒」（下）」 神戸商科大学経済研究所人文論集
26-1・2 pp19～79

●尹 占群 「殉祭制度と殷代文化」 曙光創刊号 和泉書院 pp27～33

●砂澤祐子 「中国黒釉碗“烏盞”について」 東洋陶磁 18 pp47～55

●栗本徳子 「大英博物館『千仏洞 シルクロードの中国美術展』を観て 特に染織資料
を中心に」 博物館学年報 22 pp64～72

●白川義郎 「居延漢簡に覗る書体の演変」 国語の研究 14 pp10～24

●塚田康信 「墓誌の研究」 広島文教女子大学紀要（人文・社会科学編）25 pp1～15

●塚田康信・和田圭壮 「高句麗壁画古墳の墓誌について」 広島文教女子大学紀要（人
文・社会科学編）25 pp17～31

《

●二宮淳一郎 「日本からみた北京原人の発見と失踪」 人類史研究創刊号 pp1～28

●藤田勝久 「『史記』と中国出土書籍」 愛媛大学教養部紀要 23-1 pp98～113

●藤田勝久 「戦国・秦代の都市水利」 中国水利史研究 20 pp3～22

●松本保宣 「東都洛陽宮明福門付近について」 立命館文学 519 pp132～151

●呂 静 「春秋戦国時代の棺槨制度叙論（上）」 曙光創刊号 和泉書院 pp14～18

発行月日未確認

●Ken'ichi TAKASHIMA “An evaluation of the theories concerning the Shang
oracle-bone inscriptions.” The Journal of Intercultural Studies 15・16 pp11～54

翻訳・訳註

1 月

●林 劍鳴著 林 世景訳 「中国人学者による「日書」研究の現状」 史滴 11 pp46～
54

2 月

●陝西省法門寺考古隊著 曾根三枝子訳「扶風県法門寺塔唐代地下石室遺構発掘報告」佛
教藝術 188 pp43～69

3 月

●高橋庸一郎 「睡虎地秦墓竹簡积文註解（3）」 阪南論集（人文自然科学編） 25－4
pp 1～15

●高橋庸一郎 「馬王堆帛書『老子』乙本卷前古佚書『経法』积文註解（6）」 甲南国文
37 pp75～85

5 月

●猪飼祥夫 「江陵張家山漢簡『脉書』訳註（1）」 医道の日本 49－5 pp104～108

6 月

●譚 蟬雪著 劉 永増訳 「印沙・脱仏・脱塔」 別府大学史学論叢 21 pp 1～22

7 月

●猪飼祥夫 「江陵張家山漢簡『脉書』訳註（2）」 医道の日本 49－7 pp70～74

10 月

●猪飼祥夫 「江陵張家山漢簡『脉書』訳註（3）」 医道の日本 49－10 pp80～84

12 月

●陳 顥球・陳 士萍・黄 瑞福著 山崎一雄・今井 敦訳 「御用建盞」 東洋陶磁 18
pp57～72

●杜 葆仁著 鈴木重治訳 「耀州窯と鼎州窯」 東洋陶磁 18 pp73～77